

令和2年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日 令和3年6月15日

部課名 健康子ども部スポーツ振興課

施設名	岩木山総合公園、そうまロマンТПィアスキー場、岩木山百沢スキー場
施設の設置目的	市民一人一人の健康増進と体力づくりのため、児童・生徒から高齢者まで各世代にあった各種競技スポーツ及び生涯スポーツとして軽スポーツ・レクリエーションスポーツの普及・推進を図るため、並びに観光・レクリエーション等の余暇活動の場を提供することにより、観光・地域振興を図り、併せて市民の冬期間の健康増進に資するため設置したものである。
所在地	別紙
指定管理者名	一般財団法人岩木振興公社
指定期間	平成26年4月1日から令和6年3月31日
1 事業計画の実施状況 施設の設置目的を理解するとともに、地域振興の一翼を担う施設として、概ね計画通りに実施されている。 施設の維持管理については、安全管理に努め、適正な管理運営を実施している。	
2 自主事業の実施状況 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、施設休止や活動自粛などで、例年実施している自主事業の一部が実施できない状況であったものの、感染防止対策を徹底したうえで、可能な範囲で自主事業を実施し、施設の有効活用やスポーツ振興に寄与していた。	
3 市民サービス向上のための取組状況 無料貸出傘の用意、無料送迎シャトルバスの運行、熱中症指数計貸出、宅配受付、コピー・FAX受付、忘れ物コーナー設置、休日当番医掲示、観光・交通案内、観光パンフレット配布コーナー設置、車いす貸出、健康器具・スポーツ用具貸出、市民団体からのチラシ・ポスター張り出し等を行い、利用者の利便性向上に努めていた。 岩木山百沢スキー場、そうまロマンТПィアスキー場では、期間限定にて無料送迎シャトルバス運行の実施、岩木山百沢スキー場ではシニアレンタルサービス及びキッズ対象のスキー教室を無料で実施。そうまロマンТПィアスキー場では、ショートポールを設置し無料でコース開放するなどしていた。いずれの施設においても、利用者の利便性向上に努め、集客を促すような取り組みを実施していた。	
4 市民ニーズの把握の実施状況 利用者からの意見を把握するためのアンケート調査を実施しており、可能な限り要望に対応していた。	

5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）

岩木山総合公園においては、新型コロナウイルス感染拡大による施設休止や利用者の活動自粛により、全施設の大部分において同指標より下回った。
スキー場においては、積雪に恵まれ、昨年度より営業日数が増加し、利用者数が増加した。

営業日数・索道利用者数

百沢：R1 77日・231,821人、R2 79日・274,407人

そうま：R1 73日・114,225人、R2 82日・163,829人

6 指定管理業務の収支状況

複数業者への見積依頼、自社で清掃業務を行うなど経費削減に努め、施設の管理に支障がないように、計画的な予算執行に努めていた。

7 実地調査の結果

指定管理業務とその他業務について専用口座化されていなかったものの、自主事業の積極的な取り組みや、施設の維持管理・運営は概ね適正に実施されていた。

8 成果指標の達成度

<岩木山総合公園 体育館>

利用件数：目標 330件 実績 1,338件 達成率 405.45%

利用人数：目標 30,551人 実績 17,043人 達成率 55.79%

<岩木山総合公園 野球場>

利用件数：目標 51件 実績 34件 達成率 66.67%

利用人数：目標 12,848人 実績 2,935人 達成率 22.84%

<岩木山総合公園 多目的グラウンド>

利用件数：目標 55件 実績 41件 達成率 74.55%

利用人数：目標 9,760人 実績 7,876人 達成率 80.70%

<岩木山総合公園 テニスコート>

利用件数：目標 429件 実績 475件 達成率 110.72%

<ロマンピアスキー場>

利用者数：目標 39,240人 実績 163,829人 達成率 417.51%

（参考：入場者数 20,153人）

<岩木山百沢スキー場>

入場者：目標 24,670人 実績 45,114人 達成率 182.87%

輸送人員：目標 155,049人 実績 274,407人 達成率 176.98%

体育館や野球場は、新型コロナウイルス感染症の影響による大会中止や活動の自粛、施設休止の影響により未達成となっているものと思われる。

テニスコートやスキー場などの屋外かつ個人レベルで利用可能な施設は、団体利用が主な施設に比べ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けず、目標を達成できたものと思われる。

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	弘前市の合宿誘致事業への協力、また、弘前市の事業への職員派遣、大手スポーツ用品メーカーとの共催、弘前大学と地域スポーツ団体、行政と連携した自主事業を行った。また、研修など職員育成も行った。施設利用における新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、感染防止に努めた。	適正な施設運営に努め、誰もがスポーツを楽しめる拠点となり、ひいては地域振興の一翼を担う施設を目指す。
施設の管理	B	スポーツファシリティーズ保険への加入、施設・設備の修繕工事など、施設の維持管理に努めた。	利用者の安全を第一に、適正な管理に努める。
経理の状況	B	適正に実施されていた。	常に収支状況を把握し、情報整理に努める。
団体の財務状況	B	問題なし。	

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	利用者数は伸びており、適正な施設運営や自主事業の成果と思われる。	職員の資質向上と積極的な利用者ニーズの把握を図り、今後も適正な施設運営に努めていただく。
施設の管理	B	利用者の安全管理や不測の事態に備えるため損害賠償保険へ加入するとともに、個人情報や文書等の管理も適切に管理している。	長期的な視点での施設や備品類の老朽化に伴う安全管理を進めていただく。
経理の状況	B	収支状況等については問題はないが、指定管理業務とその他業務に係る経費について、専用口座化されていない。	適切な取り扱いとなるよう対応していただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準□

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する

別紙

番号	名 称	所 在 地
1	岩木山総合公園	弘前市大字百沢字裾野195番地1
2	そうまロマンピアスキー場	弘前市大字水木在家字桜井44
3	岩木山百沢スキー場	弘前市大字百沢字東岩木山1番地1 東岩木山国有林内